

事務事業名	公共施設リフレッシュ事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉〉	所属G	維持管理G	課長名 菅田 雅人
	施策名	〈07〉道路網の整備	担当者名	陶山 透	電話番号 0854-40-1061 (内線) 3733
	目的	对生活道路(市道・一般県道)の利用者 市内を安全で迅速に移動できるようにする。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 4 0 0 2 土木総務管理事業 項目 中事業 中事業名 0 5 0 5 0 3 公共施設リフレッシュ事業	
	基本事業名	〈019〉道路の補修・維持管理			
目的	对生活道路 適正に維持管理する。				

1 現状把握〔DO〕

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (21 年度～ 24 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
各総合センター毎に実施。 ①草刈、支障木伐採等の道路施設リフレッシュ計画策定 ②緊急雇用対策事業を活用したリフレッシュ作業の実施 ③緊急雇用対策事業に基づく予算執行(臨時職員賃金、資材費、作業委託費等の修繕経費の支出)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)			
		①臨時職員の募集及び採用 ②修繕(補修)、除草、支障木伐採等	24年度終了。			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア リフレッシュ事業による作業実施件数	件	275	250	250	
	イ 雇用人数	人	40	35	36	
	ウ 雇用月数	月	235	207	178	
	エ 支払件数	件	750	661	606	

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	①生活道路の利用者 ②簡易修繕が必要な生活道路等	ア 人口【国勢調査(推計)】	人	41,917	41,159	40,548	
		イ 市道延長	m	1,155	1,155	1,151	
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
①市内を安全で迅速に移動できるようにする。 ②修繕(補修)等を実施する。	ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	57.1	55.7	56.9		
	イ 生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	70.4	70.8	72.5		
	ウ 計画に基づく修繕等実施率	%	100	100	100		

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
【社会保険料】3,643千円、 【臨時職員賃金】24,408千円、 【消耗品費】1,464千円、【燃料費】1,982千円 【修繕費】132千円、【通信運搬費】1千円、 【保険料】106千円 【賃借料】1,623千円、【工事材料費】1,468千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円	47,266	40,459	34,827
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円			
	事業費計(A)	千円	47,266	40,459	34,827	
人件費	正規職員従事人数	人	28	14	14	
	延べ業務時間	時間	672	776	790	
	人件費計(B)	千円	2,613	3,059	3,095	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	49,879	43,518	37,922	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
全国的な景気低迷により離職を余儀なくされた失業者等の一時的な雇用・就業機会を創り出すことを目的として、平成20年12月に創設された国の緊急雇用創出事業を活用している。平成24年度に事業は終了した。	簡易修繕箇所や業務量に応じて、各総合センターでの雇用人数が均等になるよう調整を図っている。	市民から修繕要望がある。 市民から修繕実施について喜びの声がある。 担当者から事業期間の延長を望まれている。 議会から事業の重要性と継続取組の必要性を指摘している。

事務事業名	公共施設リフレッシュ事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	計画に基づき修繕を行っているため、成果は既に最大である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	国の緊急雇用対策に沿ったものであり、類似事業もなく統廃合もできない。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	道路維持管理等に必要な経費である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	国の緊急雇用創出事業の観点からも事業費削減は適切でない。	
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	道路維持管理等に必要なものである。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	国の緊急雇用創出事業の観点からも適切でない。既に臨時職員を採用し行っている。	
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	リフレッシュ作業の範囲は市内全域の市道等公共施設を対象としているため公平である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	臨時職員採用の際にはハローワークを通じた公募及び面接等を行っているため公平・公正である。	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
			国の緊急雇用創出事業を活用し一般財源を抑制しつつ、市道等公共施設のリフレッシュを行えた。事業の成果は、多大であった。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携																		
<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																		
道路を中心に、公園、河川、住宅などの公共施設の維持管理に非常に貢献した事業である。今後も、継続的な他の事業(平成25年度より道路維持修繕実施事業)が必要である。																					
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		×																		
	低下	×	×																		
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					